



# 公民館事業市民意識調査

## の結果をお知らせします

市では、市民の皆さんの公民館事業に関する考えや意見、期待することなどの実情を把握するため、公民館事業市民意識調査を行いました。  
今回は、調査項目の中で、関心が多いと思われるものについてお知らせします。

いかに二極化が見られる。  
○栗山地域では全体的に利用が多い。  
○藤原地域では女性の利用が少ない。

くわしくは  
中央公民館  
☎(22)6211

### 調査の概要

調査対象：市内在住で満18歳以上の方  
調査方法：郵送での配布・回収  
調査時期：平成20年12月  
抽出方法：無作為抽出  
抽出数：3,000件  
有効回答：1,076件  
回収率：35.9%

### ①公民館・コミュニティセンターの利用頻度

質問：この3年間の市の公民館やコミュニティセンターなど公的な施設の利用頻度はどの程度ですか。

#### ↓グラフ1-1、1-2参照

回答の傾向  
○市の公民館の利用頻度は、年1回以上利用する人が約33%、年に1回も利用しない人が約66%で、男女差はほとんどない。  
○月1回以上利用するリピーターの割合は、男性が6%、女性が11%で、女性は男性の約2倍になる。  
○年1回以上利用する人の数は、男

女とも40代が最も多く、40代までは年齢が上がるにつれて増える。  
男性の場合、40代以降は大きく変わらぬが、女性は40代のみが突出している。  
○20代・30代の男性、20代の女性はあまり公民館を利用していない。  
さらに、グラフとは別に次のような傾向があります。

○男性は職業ごとにあまり大きな差はないが、女性は職業によって利用に差が大きい。  
○男女とも、フルタイムで働く非正規就業者(アルバイトや臨時職員など)は利用が少ない。  
○無職の女性の場合、リピーターに利用するか、まったく利用しない傾向があります。

### ②公民館講座への参加の傾向

質問：この3年間に公民館で実施する講座や教室に、どのくらい参加しましたか。

#### ↓グラフ2-1、2-2参照

回答の傾向  
○20代から50代の男性に、あまり講座が利用されていない。  
○女性の場合は、年齢とともに講座参加頻度が増加し、60代が最も多くなる。  
○毎週や複数の定期講座へのリピーターの参加は、女性は60代から70代、男性は70代が中心となる。  
さらに、グラフとは別に次のような傾向があります。  
○男性は職業ごとにあまり大きな差はないが、女性は職業によって参加頻度に差が大きい。

○市外に勤務している女性に、講座がほとんど利用されていない。

### ③公民館講座に不参加の理由

質問：公民館で実施する講座・教室にこの3年間に参加したことがない理由はありますか。

#### ↓グラフ3参照

回答の傾向  
○理由で最も多かったのは「時間が足りないから」で、「興味がないから」「希望の講座がないから」と続く。  
○男女で比較すると、男性は「興味

がないから」「希望の講座がないから」などの直接的な理由が多く、女性は「1人では参加しづらい」「決まった人だけ参加している」などの人間関係的な理由や、「健康に不安がある」「地理的に不便で参加しづらい」などの間接的理由が多い。

さらに、グラフとは別に次のような傾向があります。

○20代や30代など若い世代ほど、「講座の情報がないから」という理由が多い。  
○30代から50代などの働き盛りの世代は、「時間が足りないから」という

理由が多い。  
○「健康に不安がある」の回答は、70代以上に多い。  
○足尾・栗山地域では、「地理的に不便で参加しづらい」という理由が多い。

### ④その他

そのほか、「参加したい希望講座」の質問に対して、男性は「体験活動」「スポーツ」などを動かすものや、「社会問題」「まちづくり」など社会的性格の強いものへの希望が比較的多く、女性は「健康づく

り」など個人的な性格が強いものや、「家庭生活」「趣味芸術」など家庭的なものへの希望が多い傾向がありました。  
また、「公民館の講座やイベントに参加するのに都合が良い曜日、時間帯」の質問に対して、男性は「土曜日の午後と休日の午前・午後」を好み、女性は「平日の午前・午後・夜間」を好む傾向がありました。



公民館では今後、この調査の結果を踏まえて、講座やイベントなどを企画し運営していきます。

